

# 2017 A-ONE ミニバイクレース特別規則書

## 1. 及び問い合わせ先

A-ONEサーキット 筑紫野市大字原田1338

TEL 092-919-7186 FAX 092-919-7187

## 2. 開催場所

A-ONEサーキット 筑紫野市大字原田1338 TEL 092-919-7186

## 3. 出場申込み方法【締切は、開催日の一週間前（日曜日）です。大会当日は申込できません。】

### (1) 持参または郵送（現金書留に限る）の場合

A-ONEサーキットにて受付します。出場申込書と出場料を添えて開催日の一週間前（日曜日）までに下記受付場所で申し込みして下さい。郵送の場合は、開催日の一週間前（日曜日）必着となります。

### (2) FAXの場合（FAX後のキャンセルは不可となります。） ・開催日の一週間前（日曜日）

までに主催者までFAXをお送りください。（申込FAX番号）092-919-7187

・エントリー料金は、大会当日に、受付にて主催者に直接お支払いください。

**※エントリーをキャンセルされる場合、キャンセル料金として保険料¥500を頂きます。**

### (3) 注意事項

・出場申込書と誓約書には、署名・捺印（拇印不可）が必要です。

・未成年者の場合は、保護者の方の同意が必要です。

・締め切り後のエントリーは、3,000円追加となります

・**エントリーのキャンセルによる保険料の返却はいたしません。**

注意：初心者クラス・中級クラスは、設定タイムがあります。

## 4. エントリー料金

1クラス ¥6,500（保険料¥500を含む）※ダブルエントリーの場合は、2クラスのエントリー料金の合計金額が¥10,500となります。

## 5. ライダー参加資格

心身ともに健康で、ルールを守ってモータースポーツを楽しめる方 ※18歳未満の場合は、親権者の署名、実印がある誓約書が必要となります。

## 6. 日程（全戦スプリントレース）

第1戦 3月19日（日曜日） 第2戦 6月11日（日曜日） 第3戦 7月16日（日曜日） RSCレースのポイントもシリーズ戦に加算されます。

第4戦 9月17日（日曜日） 第5戦 10月15日（日曜日） 第6戦 11月5日（日曜日）

## 7. 競技内容

- (1) スタート方式 スタンディングスタート
- (2) 予選ヒート 10周 タイムトライアル方式[10分間]
- (3) 決勝ヒート 12周（スタート位置は予選結果順）

## 8. レース当日のスケジュール

- 8:00 受付開始（コース受付）
- 8:30 受付終了
- 8:35 ライダーズミーティング
- 9:00 公式練習&予選ヒート  
決勝レース開始

11:50 表彰式

※スケジュールは、当日の状況により多少前後する場合があります。

## 9. 賞典

- (1) 決勝ヒートの結果で1位から3位まで表彰
- (2) 各クラスは、下記の得点で計算し、順位を決定します。 ※年間表彰はありません。（参加台数が多い場合は、別途検討します。） 1位：15点、2位：12点、3位：10点、4位：8点、5位：6点、6位：5点、7位：4点、8位：3点、9位：2点、10位：1点

## 10. ゼッケンについて

- ・ゼッケンおよびゼッケンプレートは、前面に必ず付けること
- ・ゼッケンナンバーは、ブロック体等の読み取りやすく明確な字体にすること 角ばった字体や斜体等誤読されやすい字体は禁止
- ・ゼッケンベースは、縦横とも22cm以上であること

- ・ゼッケンベースとゼッケンの同系色は不可 ※周回チェックは、原則として計測装置を使用しますが、故障の場合だけでなく、スタッフによる手動周回チェックも同時に行い最終的な順位を確認しています。ゼッケンが不明瞭な場合は、最終順位が不利になることも考えられますので、必ず人の目で見て見やすいゼッケンを使用してください。

## 1 1. 服装と装備品について

- 1 ヘルメット フルフェイスのみ使用可能。（J I S規格以上の物に限る。）
- 2 革ツナギ ワンピースを推奨 革のセパレートタイプも使用可能ですがプロテクターが無いもの及びツーリング用の物は使用不可。
- 3 グローブ 手首まで覆う革製以外使用不可。
- 4 シューズ 足首まで覆う革製以外は使用不可。

## 1 2. クラス区分と車両規定

- 1 チャレンジ（初心者） エンジンはノーマル2スト50cc以下、ノーマル4スト125cc以下  
その他の改造につて特に制限はありませんが、危険と認められる改造は不可とします。**設定タイム39秒となっております。※設定タイムを超えますと賞典外となります。**

※チャレンジクラスのみスクーター参加可 レースを初めて間もない選手の参加クラスです。

- 2 エンジョイ（中級） スポーツ ノーマル2スト50cc以下、ノーマル4スト125cc以下C D Iユニット変更可、タイヤ（公道用）、スプロケット変更可、ブレーキパッド変更可（市販品）リヤサスペンション変更可（市販品）、ブレーキホース変更可（市販品）混合可、エアクリーナーボックス取外可 イニシャルアジャスタ追加可 ※A-O N E車両規定に準じる ※N S F 1 0 0参加可能**※目標タイム36.00秒未満となっております。※目標タイム以上はエキスパートクラスとなります。**

- 3 エクスパート（上級） スポーツ 一部改造 変更、改造禁止箇所

・2サイクル50cc以下、フレーム、Fフォーク（セッティング可） F、Rホイール、スイングアーム、燃料タンク、 F、Rブレーキ（ホース、ワイヤー、パッド、シュー、レバー変更可、クランクケース、クランクA s s y、シリンダー、シリンダーヘッド、 マニホールド、ミッション、キャブレター（セッティング可） イニシャルアジャスタ追加可

・4サイクル100cc以下 ※A-O N E車両規定に準じる ※危険と認められる改造は不可  
※N S F 1 0 0参加可能 ※S 8 0車両は参加不可 ※詳細は別途通知（A-O N E車両規則に順ずる）

- \* 保安部品は、取り外すか、テーピングをすること。
- \* スタンドを取り外し、オイルドレーンボルトのワイヤーロックすること。
- \* 安全のために必要と認められることを厳守すること。
- \* コース保護のため、接地する部分は、やすりがけ等を行い先端を丸めること。
- \* ブレーキレバー、クラッチレバーの先端は、球状（2／3以上）でなければならない。
- \* 各クラス HRC発売のNSR 50 mini に準ずる改造は可。また、NSR 50 mini 純正部品の使用可。
- \* 車両規定は、拡大解釈することなく、不明な点は、主催者に問い合わせ確認すること。

## 車両規定 (全ての車両に該当する規則)

レース前車検での主催者側の判断には、その解釈のすべてに対していかなる場合でも参加者は抗議を申し立てられない。車両規則に反したものは、主催者判断で当該シリーズの次レース出場停止処分を課す場合がある。

1. ブレーキは前輪後輪それぞれ独立した、効果的な制動力を持つ物を備えなければならない。
2. ハンドルは左右一杯に切ったときにライダーの指を挟まないようにハンドルと燃料タンク、カウリング等に 間隔を保持すること。また、ハンドルの先端にはパーエンドもしくは先端がカバーされるタイプのグリップが装着されている事。アクセルは手を離した際、自動で戻らなくてはならない。
3. クラッチレバー・ブレーキレバー・グリップラバーは変更可。ただし、レバー先端は丸み(最低直径 14mm 以上)を持たせなければならない。
4. ステップバー・ペダル類の先端は、安全上先端が中空でなく、丸みを帯びた形状でなければならない。
5. 走行中に明らかに接地している車両に関しては、サイドスタンドステーを切除すること。
6. 取り外さなければならない物は、バックミラー・スタンド類・フロントバスケット・リヤキャリア等。また、ヘッドライト・テールランプ・ウィンカー等は、取り外すかテーピングを施さなければならない。
7. カウルなどをはずした場合は、全てのカウルステーもはずす事。また、フレームの加工は最小限の不要ステーの切削のみ可。

8. オイルドレーンボルトおよび給油口(エンジンオイル・ミッションオイル)は、必ずステンレスワイヤーを用い、ボルトに通して緩まない方向に引っ張り、端をフレーム等に固定してワイヤーロックを施すこと。ドレーンボルトの改造、変更は可。
9. 燃料タンクにブリーザーパイプを取り付ける場合は、必ず透明または半透明のキャッチタンク(100cc 以上)を取り付けるか、ワンウェイバルブを取り付けなくてはならない。
10. オイルキャッチタンク・燃料キャッチタンク・ラジエターリザーバータンクは、走行前に空にしておくこと。
11. 他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような改造はしてはならない。
12. ラジエターを装着している全ての車両は、転倒時に内容物が漏れ出しにくい構造のリザーバータンクまたは、キャッチタンク(100cc 以上)を転倒時に影響のない場所に強固に取り付けなければならない。ラジエター に不凍液が入っている場合は、水または水とアルコールの化合物にとりかえておく事。サーモスタットの 取り外しは可。
13. キャブレターからのオーバーフローパイプには、透明または半透明のガソリンキャッチタンク(100cc 以上) を転倒時に影響のない場所に強固に取り付けなければならない。
14. ゼッケンベースは、縦横 20cm 以上の物をアッパーカウルとシートの両サイド、合計 3ヶ所に設けなければならない。ただし、やむをえない場合は走行前車検にて合格となったもののみ使用可。カウル小型化に伴い、シートカウル上 1 点とアンダーカウル両面のゼッケン表示も可。
15. ゼッケンの字体は、ゼッケンベース枠内に明記し、走行前車検で合格となったもののみ使用可。
16. F/R アクスルシャフトの固定はロックナットまたは割りピンを使用すること。アクスルシャフト及びスイングアームピポッドボルトにアルミ・チタン・マグネシウムを用いる事を禁ずる。
17. 互換性が認められているクラス以外の車両は、原則として原動機型式およびフレーム型式の異なる車両の 部品を使用することが出来ない。(型式とは、メーカーが定めた機種に属する原動機番号、フレーム番号 を言う)例)NSR-50 の車両に NS50-R、NS-1 の部品は使用不可 /`94NSR-50 の車両に `95NSR-50 の部品は使用可 TZM-50R の車両に TZR-50 の部品は使用不可 / 年式により異なる原動機番号を持つ本体・部品は、同車種フレームに限り使用を認める。ただし例外として NSR50・mini/NS50R・F/NS-1 のクランクケースとラジエーターに関しては部品の 互換性を認める。

18. エンジンオイルやフォークオイル等、油脂類の変更及び使用量の調整は可。
19. チェーン駆動車両のチェーンカバーの取り外しは、フロントsprocket側、リヤsprocket側のどちらに関しても不可。ただしその機能を満たす同一形状のものへの変更、もしくは、リヤフェンダーがチェーンカバーの機能を完全に満たしている場合は可。
20. チェーン駆動車両のスイングアーム下側には、チェーンとリヤsprocket噛合部をカバーする強固なガードを取り付けること。その際のスイングアームへの溶接・穴あけ加工は可。
21. ガソリンタンクカバー及び滑り止めを使用する場合は、走行中にずれたり外れたりしない様強固に装着する事。ただし、タンク本体の状態を確認出来る様、脱着が可能である事。
22. 車体及び外装関連部品の塗装は可。改造変更が認められていないクラスのエンジン関連部品の塗装、剥離、表面処理等は一切禁止。 ※車両規則に関して不明点や確認がある場合は、必ず主催者に連絡をして確認を取ること。